ＪＲ東日本労働組合

NAGANO

2026年10月9日
No613
JR東日本労働組合
長野地方本部
発行者：岡村　和幸

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp

ホームページはこちら

申第2号

営業施策に関する申し入れ

を長野事業本部に提出しました！

「えきねっとQチケ乗車券」のJR東日本全エリア化をはじめ、「 Suica Renaissance 」、2030年代初めにはJR東日本全駅でのSuica利用を可能にしていくなど、相次いでプレス発表がされています。また、2026 年度末には新しいSuicaシステムの導入によって6つのエリアが統合される予定です。

長野県内においては、しなの鉄道へSuicaが導入され、来春には長野電鉄やアルピコ交通など地方民鉄へのSuica導入が控えています。

そのような状況の中、Sicanoの開発者であるJR東日本の全線導入は急務な課題であるといえます。

長野地本は、お客さまに快適にご利用される鉄道会社づくりと、分かりやすい営業施策の構築が重要であると考え、10月6日に申第2号を長野事業本部へ提出しました。

【申第２号 申し入れ項目】

1．長野事業本部、松本事業本部内におけるえきねっとQチケえきねっと乗車券、Suica乗車券の考え方について明らかにすること。

2．エリア跨ぎのSuica利用が可能となったことから、小海線小諸から中込までの各駅と信濃川上、甲斐大泉、甲斐小泉の駅へ簡易Suica改札機を導入すること。